



平成7年度、平成17年度及び平成18年度と同一調査地域における調査結果の比較

- 注1) 平成7年度、平成17年度及、平成18年度及び平成19年度の調査結果について、各地点の石棉濃度を地域ごとにまとめて、高い順に左から並べています。
- 注2) 石綿製品製造事業場等の双子川浄苑(大阪府)は商工業地域に分類されますが、平成7年度からの継続地域として記載しています。
- 注3) バックグラウンド地域とは地域内の固定発生源の影響を受けない地点を意味しています。